

15. 7. 2014

ODAKITA SPORTS-CULTURE

ODAKITA J.H.S CLUB TIMES 4



■市内総体終わる

保護者・チームメイト等々…陰日向の応援に感謝します

ソフトテニスと男子バスケ、男女卓球は、阪神大会へ進出です。野球部は、試合内容では勝りながら惜敗。2年連続阪神大会出場は夢と消えた。どのクラブも暑い中で良く頑張り、全力を出し切りました。それぞれの会場では、保護者だけでなく卒業生や担任の先生などたくさんの応援がありました。感謝です。今年度の市内総体結果は以下の通り。

男子バスケット 3位入賞

13日：尼崎双高校体育館

14日：市尼崎高校体育館

準決勝 園田中 55-38 小田北

前日の3回戦で中央中を激戦の末38-37で退け、準決勝に進出し阪神大会出場を決めた。その勢いのまま園田戦に挑んだが、点差を詰めながらも終始リードされ、終盤は地力の差も出て力尽きた。1年から頑張ってきた大勢の3年生の分も含めて、阪神大会での奮起を期待…。



野球 6安打：相手上まわりながらも決定打出す 初戦で散る



↑＜連合チーム堂々の入場行進＞

6日（日）2回戦：若草中G 1-3 小田南

小田北・若草 0010000 1 今井-木森

小田南 010011× 3× 2塁打：大東・白川

2回、四球を足がかりに1点先取されたが、3回に安打と四球で無死1・3塁。まず、スクイズで同点とし、尚も1死2塁だったか逆転ならず。その後も、四球や敵失、安打と塁上を賑わすが、あと一本の決定打が無く、無得点。5回、2死からの死球・盗塁・適時打で2点目を献上し、6回には四球からの3点目と最悪の試合展開。



＜攻める小田北・若草＞



←＜2安打の白川君＞3年生の打撃は光った。

正に“やれば、出来る！”ということを教えてくれました。

女子バスケット 6日：百合学院体育館 1回戦 常陽中 勝-負 小田北



昨年度に復活し、車コーチ、山田先生、宝代地先生にも顧問になって頂き、1年間頑張ってきました。3年生は1名だけでしたが、よく頑張りました。試合内容も昨年の初戦（対大庄中）から見ると充分進歩が見られたのでは



ないでしょうか。まだまだ、発展途上です。出場している1年生の良い動きもありました。この1年間の苦勞を糧に、2年生・1年生が良き面を引き継いでくれるでしょう。

女子ソフトテニス 市内団体準優勝 5・6・11・12日：小田北中コート・ベイコム

5日本校が会場で、正門前には1・2年生のメンバー外部員が朝早くから駐輪場係りで頑張っていました。自転車は勿論、時間が経てば経つほど各校とも保護者や先輩の応援者が来校し、校内はかなりの混雑でした。団体戦 予選リーグは、若草・立花・成良中戦で1位通過したが、決勝トーナメントでは、塚口中に敗れ2位に甘んじ、2年連続優勝を逃がした。個人戦でも1組が阪神大会へ。熱戦と雨天のため12日も試合が続きました。阪神大会で雪辱を期す。



くいつも慣れ親しんでいるコートで試合できるソフトテニス部。土日は大勢の来校者で一杯。アップする小田北>

女子卓球 男女とも3位 阪神大会へ

6日：立花体育館 *個人戦 川口（3年）阪神大会へ
*団体戦 5校トーナメントで昨年に続き準決勝で武庫東に敗退。3位決定戦では勝利し第3位となった。午前中の個人戦でシードが1人残り、全滅という結果がそのまま団体戦へ影響？した。

男子卓球 13日：立花体育館 個人戦 準優勝 山田（2年）

団体戦は、5校総当たり。小園、若草に次いで3位入賞。3年生も踏ん張ったが個人戦入賞も逃し、“卓球王国”復活は来年度に持ち越されたか。

陸上 県通信陸上大会 7/5

（加古川陸上競技場）

新年度になり部員増が顕著で、短・長距離と分かれて練習してます。市内総体は9/13（ベイコム）阪神総体が先に開催されます。果たして、部員増の成果はあるのか？

柔道 道場をのぞいてみると補習などあり部員はまだ3名。ウオーミングアップ中でしたが、「何か、技かけられる？」と聞くと大外刈りを披露。次に背負い投げ。初心者？ながら丸2ヶ月でここまで出来る？と感心しました。受け身も出来ていたし、今後が楽しみ！？



健闘を祈る！ 中学校総体阪神大会 <7月19日・20日> 残りの時間を大切に…

- ・陸上競技 [ベイコム陸上競技場] ・ソフトテニス・男子バスケット [宝塚スポーツセンター]
- ・卓球（男子） [芦屋市立体育館] 7/19 ・卓球（女子） [芦屋市立体育館] 7/20
- ・吹奏楽 コンクール（東阪神大会） [アルカニック] 7/26 10:30頃

部活の頑張りを学習や生活に生かす…

夏休みにかけて阪神大会・県大会と上位大会へ進める種目・人もいるでしょうが、3年生にとって、中学校での部活の選手生活は7月中には終わります。1年生より頑張ってきた力（体力・技術だけでなく生活習慣や気持ちの持ち方など精神的なもの）を残りの中学生生活は勿論、中学校卒業後も更に、持ち続けて“より良い生き方”をしていくことこそ指導した顧問の先生が望んでいることです。引退後しばらくはゆっくりし、気持ちを切り替え3年生は進路に向けて本格的に進路や受検に向けての学習に入りましょう。気持ちの切り替えをしないと時間が無駄に過ぎていきます。今こそ、今までの部活での経験を生かし、先の見通し・目標を立て着実に生活するときです！1・2年生は、良き伝統を引く継ぐべく、“梵字徹底”努力を積み重ねましょう。